新視点で挑む！ 新ステージのまちづくり

稲敷市　筧 信太郎 市長インタビュー

（かけひ　しんたろう）1968年7月7日生まれ。54歳。旧江戸崎町高田出身。日本大学生産工学部卒業後、常総開発工業㈱に入社。その後、江東建設㈱の経営に携わる。2014年12月に稲敷市議会議員、18年11月に稲敷市長に初当選。趣味はヒメダカの飼育。座右の銘は仏教詩人、坂村真民の「念ずれば花ひらく」。「何事も強い思いを持って取り組めば形になるのだと思います。」

任期満了に伴う11月の市長選で、2005年の市誕生以降初となる無投票で再選を果たした筧市長。「新たな視点で挑む！　新たなステージのまちづくり」を掲げ、「地域特性を活かした持続可能なまちづくり」「市民に寄り添った安心・安全なまちづくり」「ポストコロナを踏まえた地方創生のまちづくり」の3つの柱を立て、過疎化に立ち向かう筧市長に、二期目の抱負や新たな防災総合センターの整備、和田公園のリニューアル、圏央道IC周辺開発など主要事業の展望を聞いた。

二期目の抱負は

一期目はコロナ対応が主なものとなりましたが、二期目はいろいろな分野で残されている課題を一つ一つ解決していきたいと思っています。やはり一番大きいのは人口減少問題。コロナ禍の影響もありますが、年間の出生数が約半分になっていますので、今後どう改善できるのか探っていきたい。国でも出産育児一時金について議論されていますが、市としても独自の援助等ができないか検討しています。

高齢者の方が増えていますが、いかに健康寿命を伸ばしていくかがこれからのポイントだと思っていて、これから高齢者のためのシルバーリハビリ体操など、健康増進関連のイベントを盛り上げていくべきだと考えています。

子育て支援については、一期目で基金を作り、小学校や中学校の入学時に子ども未来応援商品券を配布しました。今要望が多いのが給食費についてで、今年の9月から来年3月までは、すべての子どもを無償化にしています。

過疎化については、市全域が過疎地域の指定を受けています。「量」とか「数」といった話よりも、今住んでいる市民の方にいかに満足していただけるかという「質」を高めていくことが大事だと考えます。外から人を呼び込むというよりも、まず市民の皆様が安心・安全や幸福感を実感していただけるように努めていきます。

主要建設事業について

【東地区統合小学校】

基本構想では、「あずま生涯学習センター付近敷地」を建設候補地とする案が高い評価となっておりましたが、浸水想定エリア内への建設となることから、想定しうるすべての工法により算出したことに加え、物価の高騰も相まって、工事費が高額（61～70億円）になるため、この工法やあるいは候補地の変更も視野に見直しを行います。

【総合防災センター】

市の半分近くが洪水ハザードマップで浸水想定エリアとなっており、3年前の台風の際には、避難所の受け皿が小さく、市民の皆さまには不安な思いをさせてしまった状況がありましたので、避難所や備蓄体制の整備を進める必要性を強く感じています。そのため、現在、市域全域を対象に、災害に応じた避難者分布や避難所配置、備蓄品物流等の調査に取り組んでいます。今後は、それを踏まえ、避難所、備蓄倉庫、医療施設、ボランティア拠点など、それぞれの具体的な検討に入っていく予定です。

【和田公園リニューアル】

和田公園は、風光明媚な国定公園であるとともに、つくば霞ケ浦りんりんロードへのサイクリストの増加などを背景に、多くの来訪者が見込まれる観光・交流の拠点です。そのため、管理運営機能の強化を図るため、風致に合った管理棟を新設するとともに、既存の池や松林を楽しんでもらう遊歩道の改修などを行う予定です。本年度は公園全体の基本設計と管理棟の実施設計に入っています。また、令和5年度（2023年度）は、公園全体の実施設計と管理棟（50㎡程度）の工事を行い、令和6～7年度（24～25年度）には公園整備を施工の見通しです。

【圏央道IC周辺開発】

すでに稲敷東IC周辺では、㈱OSMIC様がトマト栽培を展開しておりますので、IC南側の約8haには新たな施設園芸企業を誘致してまいりたいと考えております。また、IC北側の約7haについては、「農」をテーマとした観光交流施設の整備を検討しておりますが、コロナ禍による観光交流への影響が色濃く残っていますので、その動向を見極めた上で着手してまいりたいと考えております。

稲敷IC周辺では新たな工業系開発について進めたいと考えており、現在、開発適地を調査している段階です。調査の熟度が上がれば、地権者等への意向調査などを実施していきたいと考えております。

【新給食センター】

江戸崎給食センターが築30年、東給食センターが築20年経過するなど、老朽化が進んでいます。児童・生徒数も減少していることなどを踏まえ、施設の統合とともに、災害時の炊き出し機能を想定した複合施設での統合を考えています。

【子育て支援住宅】

新しく整備する稲敷工業団地への進出企業も決まり、定住促進につながる良い機会となります。そのため、まずは新利根地区や東地区の未活用の市有地等を有効活用できるよう検討していきたいと考えています。

入札制度と建設工事表彰について

同額の入札でくじ引きとなることが多い状態なので、今年からテスト的にランダム係数を導入しました。透明性を高めることはもちろんですが、いろいろな入札方法を試しながら、極力市内の業者の多くの業者さんが受注できればと考えています。また、地場産業育成の観点からも、優秀な工事を評価する表彰制度を作りたいと思っています。

建設業者へのメッセージ

災害が起きた時、建設業界でなければ太刀打ちできません。先頭に立って現場に急行していただき、大変ありがたく、期待しています。人材不足や資材高騰で大変な時期と思いますが、我々としても発注にあたっては地元企業を優先していきたいと考えています。

また、今まで市の職員が道路の草刈りなどを行っていましたが、本年度から県と同様に「請道修」の道路修繕工事を始めたので、スムーズに処理ができています。今後、上下水道にも広げていくことを検討しています。

防災センター新設へ

つくば霞ヶ浦りんりんロードに隣接する和田公園

稲敷東IC周辺では、観光交流施設の整備のほか園芸企業を誘致する

社会資本整備を通して
新たなステージのまちづくりに貢献します

稲敷市建設業協会

東開発工業㈱	荒野　博史	稲敷市三島1035-4
飯塚建設㈱	飯塚　明夫	稲敷市市崎1336-2
㈲遠藤工務店	鈴木　光和	稲敷市中山1833
㈱大塚組	大塚　衛	稲敷市四箇2770
㈲岡部工業	岡部　軍治	稲敷市月出里78-5
㈱川島工務店	川島　伸二	稲敷市本新427
㈲栗山重機	栗山　和彦	稲敷市江戸崎甲2895
㈲小林工業	小林　貴子	稲敷市下君山1815-1
㈱サンヨウ建設	吉田　要司	稲敷市柴崎6841-9
㈱関川殖産園	関川　祐一	稲敷市神宮寺2261
日高見建設工業㈱	根本　和明	稲敷市桑山403
平山建設㈱	熱田　勝義	稲敷市古渡851-1
㈱ホンダ	本田　正夫	稲敷市蒲ヶ山42-19
松野建設㈱	高橋　良昭	稲敷市上馬渡1035
松原建設㈱	佐川　克豊	稲敷市西代2852
㈱宮本総合設備	宮本　富夫	稲敷市佐倉2283
柳町トレンチャー㈱	柳町　光昭	稲敷市柴崎8838
吉田建設㈱	吉田　佳史	稲敷市江戸崎甲3085
米川組㈱	米川　浩志	稲敷市浮島6924